

燕岳山行報告書

(山域) 北アルプス前衛：燕岳

(コース)

4/22：中房温泉～第一ベンチ～第三ベンチ～合戦小屋～燕山荘～燕岳～燕山荘

4/23：燕山荘～燕岳～燕山荘～合戦小屋～第二ベンチ～中房温泉

(日時) 4月22(土曜日)～4月23(日曜日)

(天候) 4/22 曇りのち晴れ(微風)・4/23：快晴(稜線風有)

(参加者) CL：内堀(記録)・SL：岸野・大森・園田・小宮山・細谷(会員外)

(山行タイム)

4/22：中房温泉(登山口) 8:16～第一ベンチ 9:00～第三ベンチ 10:05～合戦小屋 11:30～
燕山荘 13:10/14:55～燕岳 15:25～燕山荘 16:15

4/23：燕山荘 6:40～燕岳 7:05～燕山荘 7:30/7:53～合戦小屋 8:25～第二ベンチ 9:40
中房温泉(登山口) 10:50

(山行報告)

4/22

金曜日の夜、久々の千葉駅北口に21:30集合して出発する。思えば、燕岳は何度もチャレンジするものの、ことごとく失敗に終わり4年間行けなかった。初めてのチャレンジは地震から崩落事故により通行止めで常念岳、2回目は車が動かずハケ岳(赤岳)への変更、3回目は体調不良により宮城ゲートから中房温泉までの歩きを止めた経緯がある。今回も4/21開通予定の中房線が4/25開通情報へと変わりバックUPとして山行場所も用意したが、4/20(木)PM、一転開通情報が流れた。そのため、燕岳山行が出来る事になった。油断は禁物である。中房温泉入るまで。2台の車にて穴川ICより首都高・中央道を進み、途中、諏訪湖SAで合流する。その後は、安曇野ICで降りてコンビニで寝酒を購入して、道の駅「堀金」にてテントを張る。軽く宴会をしたのち、就寝する。2:00を回っていた様である。

翌朝は5:30に起床して食事をせず、コンビニで朝食・行動食を購入して一路、中房温泉を目指す。順調に進み第一駐車場に車を止める事が出来た。登山の準備を行い中房温泉入口(登山口)のテーブルにて朝食を食べる。やはり、我々と同じで中房線開通を待って来ている方々が沢山いる様である。朝食後は出発、気合を入れて出発する。登山道には雪は無くノーアイゼンで進む。少し登った辺りから日陰部分で雪が表れて来て、第一ベンチ手前から全ての登山道が雪に覆われていた。第一ベンチで休憩し上を目指す。第二ベンチは判らずスルーして、第三ベンチで休憩を取る。この頃になるとかなりの急登を登るが、雪はザラメ状で滑る事はないのでツボ足で行ける所まで進む。明るくなって来た所で合戦小屋が現れる。小屋は雪に覆われて2m近くあり屋根と入口の一部しか見えない状態である。去年の燕山荘HPではすべて小屋が見えていたことを考えると、今年は雪が多かったことが伺える。合戦小屋にてアイゼンを装着して、最後の登りに取り掛かる。一步一步進み途中、北アルプスが見える箇所に着く。久々の岸野さん少し疲れ気味で、暫しの休憩を入れ、疲れを取る。最後のひと踏ん張りようやく燕山荘に着く。

この頃になると槍ヶ岳・穂高方面は雲が掛ったりして見えたり見えなかったりとする。まずは、燕山荘で宿泊手配を行い、部屋に向かいザックを下す。食堂にて各々、食事を頼む人やお湯を沸かし中国の「鉄観音：烏龍茶」を飲み一息し落ち着く。外の天気はドンドン良くなる感じなので、14:30過ぎに出発の準備を行う。小屋の方に聞いたら雪が解けてアイゼン無でOKとの事から登山靴で出発する。稜線のため雪があったりする登山道を進み30分程度で山頂に着いた。誰も居なく表示板を探したら、三角点の上に燕岳「2763m」とあった。4年越し燕岳である。この頃になると周りの景色は遠くまで見えている。360度ビューである。残雪の景色は良いものである。槍・穂高がかなりの雪がついている。去年の比較にならない。やはり今年は雪が多い。裏銀座方面は完全雪山状態である。後立山方面・妙高方面は雲の中、右方面は浅間山・更にハケ岳が見え、その右側に南アルプスが見えていた。残念ながら富士山は本日見えていません。山頂では別パーテ

ィが上がってきて、結婚記念として垂幕によるお祝いをしていた。若い人は記念にしたのかな？山頂の景色と写真を堪能した後、燕山荘に向かう、途中、岸野さんが雪で踏み抜き抜けなくなる。二人の手助けにより何とか救出成功。雪が腐ってくると踏み抜く確率が高くなる。その前、私も軽く踏み抜いてしまった。太っている人は少し不利ですね。女性安心。

小屋についてから、登山靴・スパッツなどの乾燥室に入れ、部屋に戻る。ようやくお酒が飲めると、本日、大事に担ぎ上げたお酒を出す。まずはビールで乾杯して、喉が潤った所で「獺祭」3割9分を出す。香りがいいね。山と酒の話に盛り上がる。そのうち、夕食の連絡が入り食堂に向かう。本日人はいるもののシフトはなく余っている席もあった。我々6人グループは1テーブルを占領して、食事や酒を飲み楽しいひと時を過ごす。食事後、小屋オーナーから燕岳周辺の環境変化等を説明される。やはり今年は雪が多いとあった。また、最後にホルンを弾いて頂き、お開きとなる。最後に軽くお酒を飲み部屋に戻り、布団を敷きバタン・キューと寝てしまった。

後は何があったかは私自身何も記憶にない。

4/23

翌朝は5:00前に起床する。皆朝焼けを見るため外に出ていたが、男性陣は部屋でボーとしていた。小宮山さんが朝焼けを見て帰ってきて、かなり良いと言っていたので、食事前に小屋の外に出て写真を何枚か撮り、寒いので速攻で小屋の中に戻る。その後は美味しい朝食を食べてくつろぎ、燕岳に行こうかと話をして準備をする。登山靴を履きアイゼンを装着して出発準備。風が強いせいか脱落者が出て、大森・岸野さんと不参加表明。最後に園田さんも不参加。この景色を見ない手はない。3人で昨日に続き燕岳を目指す。本日、疲れも取れたせいかあつという間に山頂到着。早朝のため雪が締りアイゼンの効きが良く早く登れたようである。昨日も景色は良かったが、本日は雲一つクッキリした景色である。青空が美しく白い山々が映えている。昨日、見えなかった、富士山・妙高方面・後立山方面が良く見えている。槍穂高も更によく見える。ここまで見えるとは、嬉しい限りである。記念撮影後は燕山荘に戻る。小宮山さんが代表で、待機組を呼び、ザックを小屋の外に出して頂いた。全員準備が揃った所で、名残り惜しいが下山を開始する。燕山荘から降りる途中、最後の槍穂高方面を写真に収め、合戦小屋に吸い込まれる。休憩後は、合戦尾根を下るものの、昨日思わなかったが、意外と急坂である。慎重に降りる。第二ベンチが見えあと少しのところまで来る。岸野さん久々の急坂で膝上の筋肉の力が入らないようである。あと少しと励ましつつ、無事、中房温泉に到着する。お疲れ様でした。

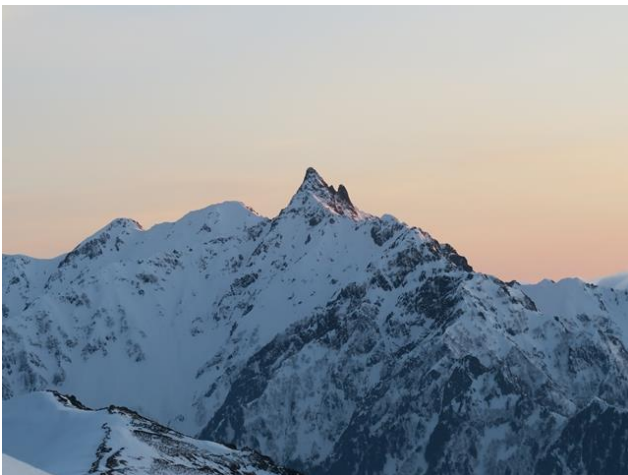
アイゼン・ストックを水場で洗い、第一駐車場に戻る。車にて元の道に戻り宮城ゲートを過ぎ、穂高温泉にある、日帰り温泉「しゃくなげの湯」に入り二日間の汗と疲れを取る。穂高温泉は今桜が満開状態で、桜と青空は良いものですね。特に桜色が映えます。ここからすぐそばのラーメン「味よし」で支那そばと餃子を注文、ここのラーメン昔風で私にはこなれた味が美味しく感じられた。満足である。食事後は、高速道路に乗り一路、千葉を目指す。上野原辺りから渋滞するものの意外と早く抜けられ、7:10頃には千葉駅に到着し解散した。

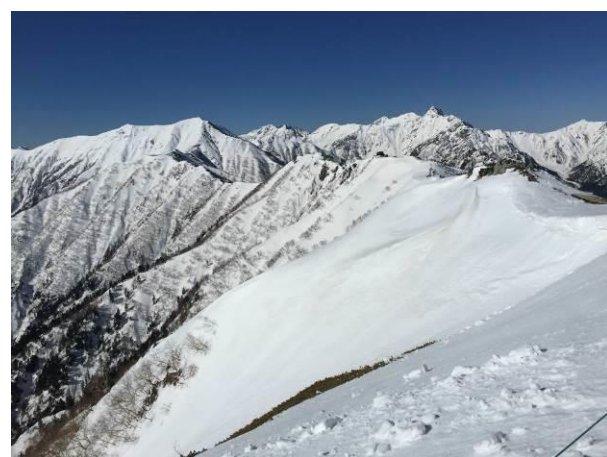
長年行けなかった燕岳が幸運にも道路開通が上手く繋がり、晴天にも恵まれ満足の山行であった事は間違えなさそうである。ここの山に魅了される人たちが多いことは行って初めて判った。

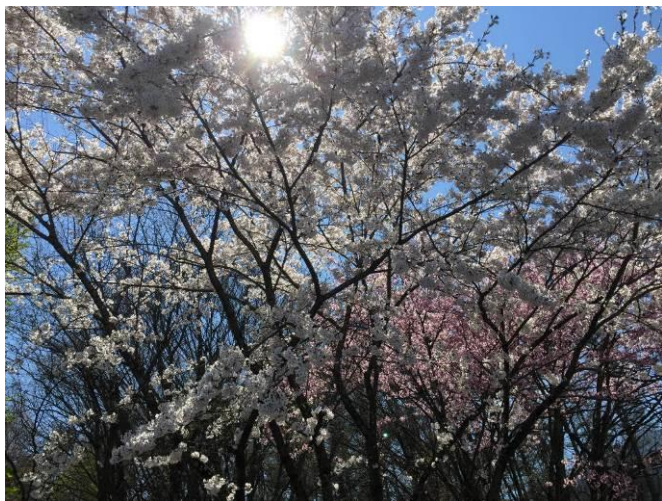
また、燕山荘の人気もこの山の魅力の一つであることは間違えない。私が知る山小屋では心遣いは一番だったかも知れない。











以上